

令和 6 年度 にいがた市民大学講座プログラム（案）

【大学コンソーシアム連携講座】

『多様性』の時代を考える～インクルーシブな社会づくり～

1 趣 旨

年齢や性別、志向、障がいの有無など、社会は「多様性」に満ちています。考え方や生き方が多様化する現在、一人ひとりがそうした「多様性」について考え、尊重することはとても大切です。しかし、「自分と違うこと」や「知らないこと」を受け入れるのは、決して簡単なことではありません。

本講座では、高等教育コンソーシアムにいがた加盟校の専門性を活かした様々な知見や知識を学びながら、「多様性」について理解を深めていきます。そして、講座を通じて、お互いを尊重し合うインクルーシブな社会づくりについて、一緒に考えていきましょう。

2 曜日・時間 水曜日 午後 7 時 ～ 午後 9 時

3 実施方法 対面受講

4 講座コーディネーター

新潟青陵大学福祉心理子ども学部子ども発達学科 教授 齊藤 勇紀

5 主な受講対象者（ターゲット）

若者から子育て世代、高齢者まで、どなたでもご受講いただけます。

6 プログラム・講師

| 回 | 日時 | テーマ（25 字以内） | 内 容（60 字以内） | 講 師 |
|---|-------------|---------------------------------------|--|-----------------------------------|
| 1 | 6/5 (水) | 多様性の理解（導入・概論） | 自分とは「異なる」ものへの捉え方の仕組みを学び、改めて「多様性を理解する」ということはどういうことなのか考えていきます。 | 新潟青陵大学短期大学部人間総合学科 准教授 関 久美子 |
| 2 | 6/19 (水) | 多様な子どもたちにも科学の楽しさを！ | 特別な支援が必要な児童へのサイエンススクールを通して、多様性への理解、参加児童の科学への興味・関心について紹介します。 | 新潟薬科大学医療技術学部臨床検査学科 教授 中川 沙織 |
| 3 | 7/3 (水) | 公開候補 多様な子どもの育ちの理解とインクルーシブ教育 | 教育現場の 実状 から、特別な支援が必要な児童生徒への最適な支援に焦点を当て、インクルーシブ教育システムの理解を深めます。 | 新潟大学教育学部 准教授 渡邊 流理也 |
| 4 | 7/17 (水) | ‘身体＝こころの共同体’の運営（トリセツ）を考える | 自分の身体は一つですが、こころは実は一つではありません。多色のこころの共同体の不調に統合医療と対話からアプローチします。 | ささえ愛よろずクリニック 院長 今村 達弥 |
| 5 | 7/31 (水) | ジェンダー平等を目指すインクルーシブな社会づくり | 日本のジェンダーギャップ指数（2023）は146 か国中 125 位です。ジェンダー平等の視点にたち、インクルーシブな社会づくりを考えます。 | 新潟薬科大学看護学部 学部長・教授 定方 美恵子 |

| 回 | 日時 | テーマ (25 字以内) | 内 容 (60 字以内) | 講 師 |
|---|-------------|---------------------|---|--|
| 6 | 8/21 (水) | 新潟県の歴史・県民性から見る多文化共生 | 新潟県の県民性は、多文化共生にどう位置付けられるのでしょうか。多様性・多文化共生と新潟県の県民性を歴史的に分析します。 | 新潟青陵大学福祉心理子ども学部子ども発達学科 特任教授 伊藤 充 |
| 7 | 9/11 (水) | 保育における新しい組織文化の創造 | 新たな知見の生成、それに伴う新しい組織文化の創造が繰り返される保育の場をもとに、改めて「多様性」について考えます。 | 新潟青陵大学福祉心理子ども学部子ども発達学科 教授 齊藤 勇紀 |